



かみかわ町

議会だより

No. 66

令和4年
6月1日発行

この町は あなたが住む町 つくる町 神川町議会

令和4年

3月

定例会

一般会計当初予算等を可決 P.2

6名の議員が一般質問を行う P.3

議会が注目 令和4年度新規事業 P.9

議会の傍聴について

第2回定例会は6月

7 日(火) [午前9時～ 一般質問等] から

14 日(火) [午前9時～ 質疑・討論・採決等]
を予定しています。

新型コロナウイルスの感染状況により、議会の傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。



最終ページに
写真の説明があるよ

表紙シリーズ

町内の風景写真

3月定例会を開催

令和4年第1回神川町議会定例会は、3月3日から16日までの14日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、櫻澤 晃町長から提案された令和4年度一般会計及び特別会計8件や、令和3年度の補正予算6件をはじめ、条例の制定や改正8件、人事案件等10件の計32件の案件を審議し、原案どおり可決・同意・承認しました。

(議案一覧及び審議結果は12ページをご覧ください。)

なお、選挙管理委員及び補充員の選挙や決議1件も可決しました。(決議書は13ページをご覧ください。)

また、一般質問は3月3日に行い、6名の議員が、町長をはじめ町当局の考えについて、質問しました。

質問者	質問事項	質問要旨	掲載頁
柴崎 愛子	1. タブレットを活用した悩み相談について	1 端末に機能導入することについて	3
川浦 雅子	1. 子育て環境の整備について 2. 高齢者支援と地域産業支援について 3. 成年年齢18歳について	1 子育て支援の拡充について 1 現役高齢者支援と思い切った後継者育成や、コロナ禍で売り上げが減少したコメ農家等への支援について 1 権利と責任と消費者被害防止について	4
福島 康弘	1. 町の防災公園について 2. 神流川流域地域の水防について	1 防災公園の新規設置及び既存の公園の防災公園化について 1 国管理の堤防に対して、町の具体的な取組について	5
赤羽奈保子	1. ヤングケアラー支援について 2. 防災について	1 ヤングケアラーの支援について 1 地域気象防災支援のための気象庁等による取組について 2 防災士の育成について(追跡質問)	6
四方田繁男	1. 観光施設の管理運営について	1 施設の安全点検及び整備更新の実施について 2 観光事業の方針について	7
新井 太一	1. 今後の農業振興施策について	1 農業者の意向に沿った事業推進について	8

※一般質問とは、議員が町の現在の施策、将来の考え方や説明を町長などに求め、町民のための適切な町政運営を行っているかチェックするものです。

※3月定例会の一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、町ホームページでも6月上旬から閲覧出来ます。



一般質問



柴崎 愛子 議員

タブレットを活用した悩み相談

◆端末に機能導入の実施を

と考えます。
端末に機能導入し、児童生徒の悩み相談にタブレットを活用する考えがあるか伺います。

答え 教育長

「タブレットに、相談に特化したソフト導入は考えていません。」

コロナ禍で家庭環境が大きく変わった子、また、学校行事もここ2年、部活動、大会等の制限、給食時の黙食と子ども達のストレスも大きいと感じています。また、皆同じ、皆我慢していると思う、自分の感情を出さなかつたり、感情を出すことができなくなることを危惧しています。

教育委員会として、児童生徒の悩み相談に対して、現状をどのように認識しているのか、また具体的な寄り添い対策をどのように考えているかを伺います。またペーパーでアンケートを取っていますが、子ども達は、紙に書くよりも、タブレットで日々の心情をお天気に例えて記録する方がSOSを出しやすい

現在、児童生徒の悩み相談は、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが対応しています。また、各担任や養護教諭、さわやか相談員が毎日の健康観察や相談に乗っています。さらに、生活点検表やいじめアンケートなどから、悩みを把握するとともに、家庭子ども相談員を配置し、保護者との相談活動を実施しています。児童生徒の悩み相談は、自ら申し出られる子どもばかりではないので、日々の子どもの様子に注意して、言葉かけやカウンセリン

グをすることが重要と認識しています。
また、タブレットの方が紙より短い時間で記入でき、集約もしやすい利点があります。
しかし、小学校低学年は自分の悩みに気付くことが難しい発

達段階でもありますので、毎日接している担任等が、顔を見て、表情を見て、話を聞き取る方が実態を把握できると考えます。
ソフト導入は現在考えていません。

あなたの声を
聴かせてください



もし、あなたが悩みを抱えていたら、相談してみませんか？

出典：厚生労働省ホームページ

(https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/assets/img/top/kv_img.png)

一般質問



川浦雅子議員

子育て環境の整備

◆安心して預けられる
保育環境を！

子育て環境を、どのような認識を持って対応していますか。また、保育所・幼稚園給食無償化、学童保育料多子世帯軽減や保育士の処遇改善等に対する考えを伺います。

答え 町長

「給食費無償化の
早期実現を考えます」

多様化する幼児教育、保育ニーズに応えられる質の向上に努めます。保育所・幼稚園給食費無償化は、早期に実現したいと考えます。学童保育は、4箇所
の民間へ運営を委託して、減額には対応していただいています。

また、正規保育士の採用を計

画的に進め、幼児教育・保育施設
の環境整備も調査研究します。



高齢者支援と地域産業支援

◆地域を支えている
農業を守る！

高齢農業者が米価暴落により、米作りから撤退しない支援と、作物の生産維持、地域振興、環境保全の役割を担っている農業へ直接支援をし、後継者育成にも力を入れていく考えはあるか、伺います。

答え 町長

「国の制度を活用し
支援しています」

町では、認定農業者支援事業を継続して実施しています。コロナ禍において、令和2年度は、神川町中小企業者等事業継続支援金、令和3年度は、神川町中小企業者等定額給付金を支給しています。また、国の制度も活用し支援を行っています。



成年年齢18歳

◆未成年者取消権
18歳19歳の被害防止策
は？

成年年齢が18歳に引き下げられ、保護者等の同意を得ていない場合は契約後でも取り消せる

「未成年者取消権」も18歳から
無くなります。
若者の消費者被害防止策を伺
います。

答え 町長

「ホームページ等で
周知啓発します」

ポスターや町ホームページで啓発し、まちづくり講座等でも周知啓発をしています。

答え 教育長

「周知啓発と
体験活動を充実します」

小学校では消費者教育を、中学校ではスマホ教室の開催等で啓発しています。

学校だけでなく、社会奉仕活動や地域行事へ主体的に参加できるように、体験活動の充実を図ります。

一 般 質 問



福島康弘議員

町の防災公園

◆自助・共助・公助の できる防災公園を

現在、町には10箇所の都市公園がありますが、防災に特化した公園は一つもありません。

コロナ禍のなか、避難所として使える防災公園が出来ることにより、人の分散化が出来るのではないのでしょうか。

また防災公園があれば、犬・猫などを飼っている方も一緒に避難出来るのではないのでしょうか。

防災公園の設置について、町長の考えを伺います。

答え 町長

「既存公園の 防災機能を研究します」

町では消毒液の感染防止対策をはじめ、段ボール間仕切りを

準備するなどプライバシーの確保と感染防止を目的に備蓄を行っています。また、町で指定する避難所のほか、安全な親戚や

知人宅への避難なども周知し、分散避難を推進しています。

ペット連れの避難は、避難所の駐輪場などにリードでつないでもらうことや、風雨をしのげる場所でケージに入れていただくことを想定しています。

防災公園は、現在は検討していませんが、避難所等の充実を図るため、他地域の活用方法等を参考にし、既存の公園への防災機能を付加するなどの研究をしていきます。

神流川流域地域の水防

◆大切な命を守るために

令和元年10月の台風19号では、町の避難所や知人宅に避難した

人はどのくらいでしょうか。大規模災害に備えて、避難所の見直しを進めていますか。また、障がいのある人や独居高齢者の方への災害時の情報周知、避難はどのように考えていますか。

さらに、神流川を管理する国に対して、調査の依頼や要望をしていますか、どのような答えが返ってきていますか。神流川の水の流入する原因を、町ではどの地域の、どの原因が一番起こりやすいと考えているのでしょうか。

総合的な水防対策について、町長の考えを伺います。

答え 町長

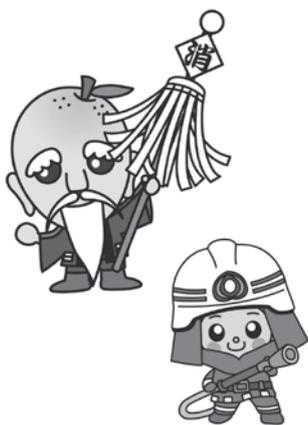
「ハザードマップの周知 避難経路の確認が必要」

令和元年台風19号では、避難所を3箇所、自主避難所を3箇所、計6箇所開設し、避難所以外に避難された方は、把握していません。また、避難所の避難世帯数も把握はしていませんが、一時300人を超える方が避難をしました。

避難所の在り方を含め検討を行い、小中学校に防災倉庫を新設し、水や食料、毛布、感染症対策品などを備えています。また、希望する世帯には戸別受信機の貸与や、聴覚に障がいのある世帯には文字表示付戸別受信機を貸与しています。

国や県に対しては、流水の障害となる樹木の伐採を要望し、河川内の樹木伐採が実施されています。また、国では、神流川の洪水について、ゆ〜ゆ〜ランド付近が無堤のため、あふれ出ると想定されています。

町では、国に神流川の適切な維持管理を要望するとともに、避難指示等の適切な発令をはじめ、ハザードマップの周知による日頃からの避難経路の確認等が必要と考えています。





赤羽 奈保子 議員

ヤングケアラー支援

◆ヤングケアラー

調査・周知啓発を！

全国のヤングケアラー調査では、中学生で5・7%、高校生で4・1%がヤングケアラーであるとの報告もあります。埼玉県では全国初のケアラー支援条例が公布、施行されています。神川町の小中学校では、ヤングケアラーの実態調査はできているのでしょうか？

また、ケアラー同士が話せる場所や相談窓口、地域にケアラーの子どもがいることを認知してもらったための施策はあるのか、伺います。

【答え】 教育長

「窓口等の検討が必要」

「広報紙で周知します」

今年度、埼玉県から配置されているソーシャルワーカーに対

して行ったヤングケアラーの実態調査アンケートでは「特に相談はなかった」との回答でしたので、実態把握として不十分と判断し、小学校、中学校で、さらに実態調査をいたしました。ヤングケアラーに特化した窓口等は特に設置していませんが、調査結果を見て、検討する必要があるかと思えます。ヤングケアラーの認知度を高める施策は、昨年の広報紙で特集を組み、イラストで小学生から高齢者までわかりやすく説明しています。学校教育の分野では、今回実施したアンケートの集計結果を踏まえて、保護者にヤングケアラー問題の理解を深めていきます。

防災

◆防災力向上

「専門職員育成を」

気象庁では、気象防災支援の

取り組みをしています。想定外の大雪や大雨などがまた起こらないとは限りません。災害気象情報の受け手である町にも、気象が分かる職員の育成が大切であると考えますが、研修や訓練への参加についての考えを伺います。

また、地域の防災力を高めるため、より高い知識を持つ人材を育成するための防災士資格取得について、金額の一部を助成する考えはありますか？

神川の町の児童・生徒への防災教育では、以前の質問後、どのような検討、取り組みを行ったのか、伺います。

【答え】 町長

「ワークショップに参加」

「地域防災力を高めます」

気象台との連携は、熊谷気象台とホットラインによる緊急連絡体制を構築しており、町が避難指示等の判断や、防災対策を検討する際に今後の気象状況や見込みについて情報をいただいています。また、台風の接近や

降雪が予想される場合は、気象台の説明が行われ、情報を収集しています。

職員の研修への参加は、ワークショップ等に担当を参加させることにより、地域の防災力の向上に寄与すると考えています。また、防災士の育成では、防災士の果たす役割は大変重要であると考えていますが、取得後の活動等を考えると検討が必要です。

【答え】 教育長

「専門家の講演」

「段ボールベッド作成」

「防災教育を実施」

防災教育では、小・中学校の社会科、保健体育科の分野で学習しています。また、青柳小学校、神川中学校では、専門家による講演や、避難時の生活を想定して段ボールベッドを実際に作る防災教育を行いました。

今後も各学校の防災計画により、「自分の身は自分で守る」という観点で子どもたちの防災意識を高めていきます。

一般質問



四方田 繁男 議員

観光施設の管理運営

◆魅力ある

観光施設の実現を

施設の安全点検及び整備更新の実施について、国交省がインフラ長寿命化計画や公園施設の安全点検に係る指針を定めるなど施設を安全に利用していくために各施設や公園の計画的な維持管理施策や長寿命化対策など施設維持管理について基本的な考え方が示されています。町には、冬桜の宿神泉や城峯公園などの観光施設があり、施設を安全に利用してもらうため、定期的に指定管理者と町職員で確認し、設備点検やメンテナンスを行い、修繕などが必要な場合は計画的な改修を実施することが大切です。また、時代にあったリノベーションやリフォーム、景観を活かした間伐・伐採などの活用も必要です。

観光事業の方針は、神川町の

自然環境や地域特性を生かし地域振興施策として推進してきた「観光事業」ですが、今後の観光事業に対する認識と観光振興に向けて、町長はどのように考えているのか、伺います。

答え 町長

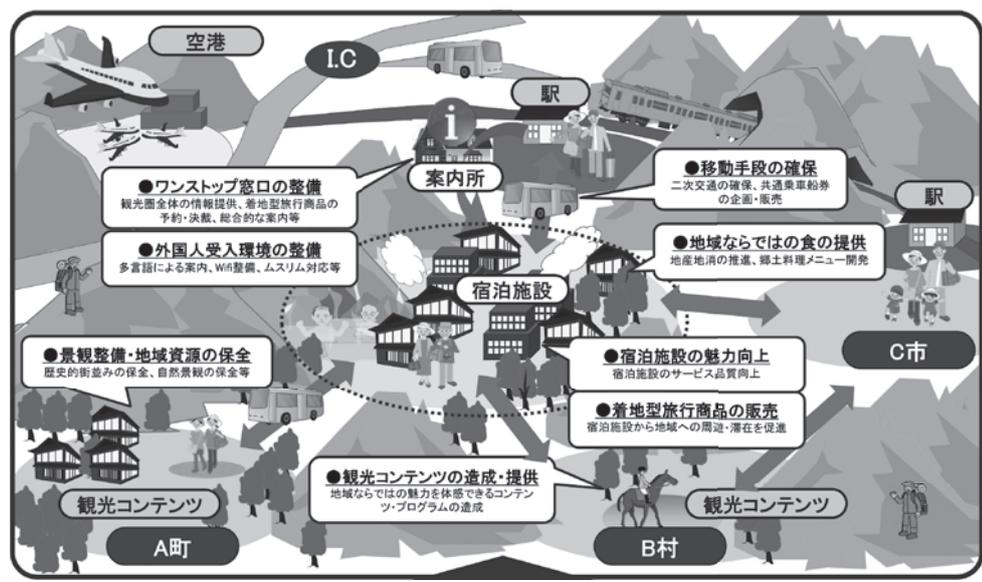
「観光客に魅力ある施設 広域連携でアピール」

冬桜を観光資源の目玉とした神川町の観光施設である城峯公園及び冬桜の宿は現在指定管理者により運営が行われ、基準額10万円以上の修繕は、町の予算で可能な限りの修繕を行っています。

施設の維持管理運営を行う指定管理者との定期的な打ち合わせをさらに充実させ、また町でも点検確認を行い、施設の安全性を高め、観光客に魅力ある施設となるよう努めていきます。

既存の観光資源を大切にしなから、他市町村との広域連携によりさらなるアピールをしていきます。県境を越えて神流川上流域の市町村と合同での事業の実施に向けて、町だけにとどま

らず民間の方々の方々の様々な意見や観光資源を取り入れながら、神川町観光協会や関係団体等の協力を得て、観光振興に取り組みます。



出典：観光庁ホームページ
(<https://www.mlit.go.jp/common/001087876.pdf>) を一部加工して作成

一般質問



新井 太一 議員

今後の農業振興施策

◆町政一体となった政策展開を

現在、神川町の農業振興では、様々な施策や支援事業などが実施されているかと思えます。

しかし、多くの事業は、認定農業者や新規就農者、また特定の作物生産者に限られていると思えます。これらの事業は、もちろん必要不可欠なことです、



遊休農地の有効活用

裾野を広げ、多くの農業者の声を聞き、そして、意見や要望などを町がしっかりと把握し、農業施策に反映していくことが重要な行政運営だと思います。

今後、どのような形で農業者の声を聞き、意向にそった事業を実施していくのか、具体策や方針を伺います。

また、持続可能な農業として、町長は何を重点に、どのような取組をしていくのか、伺います。

答え 町長

「農業者のニーズに合う支援策や取組を検討」

農業委員会と連携し実施している農地中間管理事業で、担い手農家と農地所有者の意向等の把握や、事業実施地区ごとにアンケート調査を継続的に実施し、後継者の現状把握等を行っています。

また、認定農業者の5年ごとに実施する経営計画の更新時や、各農業団体の会議で要望等を聞き取り、認定農業者や新規就農者への機械購入費補助や、国や県と連携した就農者への補助支

援等を実施しています。

農業に関する相談等は、担当課の経済観光課窓口で常時対応しています。

農業委員会も、農業委員や農地利用最適化推進委員が、農業者の皆様のご相談に乗りながら、農地の利用集積や遊休農地解消に向けた取組を行っています。

今後は、農家全員の方から意見を聞き取っていくことは難しいと思えますので、まずは農業団体の代表者との話し合い等を通じて、農業者のニーズに応じた支援策や取組を検討していきます。



農業者の意向に合う持続可能な農業

① 安心できる子育てと生涯の学習を生かすまちづくり

①多子出産祝金(拡充):予算額60万円

過去5年間の出生数を見ると平成29年度75人 平成30年度60人 令和元年度59人 令和2年度51人 令和3年度48人と急激に減少していることから、令和4年4月1日以降の出生児を対象に出産祝金を拡充します。

第3子5万円

第4子5万円

第5子5万円となります。

②子育てモバイル事業:予算額132万円

かみかわまち子育てモバイルアプリを導入します。子育て家庭に対し、スマートフォンを介して情報発信やオンライン相談ができるアプリです。また、予防接種のスケジュールや検診のスケジュールの管理機能もあります。



子育てアプリイメージ

③丹荘小学校体育館床改修工事、 青柳小学校体育館LED器具照明 : 予算額315万3千円

アセットマネジメント(資産・財産の経営管理)により、老朽化した施設を随時改修がされています。

今回、丹荘小学校体育館の床をウレタン塗装で4回重ね塗りするため、夏休みに工事が行われる予定です。

また、青柳小学校体育館の照明が水銀灯からLED照明に変わります。



改修前の青柳小学校体育館照明

④オンラインコンサート実施事業 : 予算額11万円

日本フィルハーモニー交響楽団の演奏会をソニックシティから生配信で上映。

中央公民館で無料鑑賞できます!



©山口敦

オンライン事業イメージ

⑤図書消毒機設置事業: 予算額258万1千円

紫外線除菌ランプ等による本の消毒機を購入。1回に約3冊をまとめた消毒利用が可能。中央公民館、ふれあいセンター、多目的交流施設の図書室に各1台を設置します。



未来につなぐ 住みよい神川 ～歴史・自然を後世に～

④ 活気に満ち元気に働けるまちづくり

神川町プレミアム付き商品券発行補助事業：予算額2,200万円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小した地域経済の活性化を目的とした、プレミアム付き商品券発行事業の運営に要する経費に対し、補助金を交付するものです。

⑤ 町民と行政が協同し希望に満ちたまちづくり

新神泉総合支所建設事業：予算額4億4,335万4千円

現在の神泉総合支所の老朽化に伴い、施設を建て替えるものです。また、ステラ神泉の機能を補完するための改修を行うことにより、地域の公共施設を集約し、小さな拠点の形成を目指します。





議会が注目

人を育てて まちが育つ

令和4年度新規事業

② 安全で快適に暮らせるまちづくり

① 消防団出動報酬の改定: 予算額547万円

消防団員の処遇改善を図るため、非常勤消防団員の報酬等の基準が策定され、出動旅費の定額支給から費用弁償の支給に改定するものです。



② 水道料金基本料4か月減免事業 : 予算額3,012万円

新型コロナウイルス対策（生活支援）の一環として、水道料金基本料減免事業を昨年同様に実施されます。各家庭の水道料金基本料（¥1,320）を、令和4年7月から令和4年10月までの間、減免することになりました。

③ 健康で安心に満ちたまちづくり

① 外出支援タクシー利用料金助成制度: 予算額63万円

【対象】	身体障害者手帳	1級～3級所持者
	療育手帳	④・A 所持者
	精神障害者保健福祉手帳	1級～2級所持者

【事業内容】

令和4年4月1日より新規にタクシー料金の助成があります。

¥500×36枚 詳しくは、広報かみかわ4月号または町のホームページをご覧ください。

② 新型コロナウイルス感染症 自宅療養者への生活支援事業 : 予算額24万4千円

新型コロナウイルスの感染者の増加に伴い、県からの支援が間に合わない事態になっています。町では、県からの支援が届くまで、食料等4日分の支援を実施します。



③ 総合福祉センター整備事業 : 予算額6,666万3千円 (コロナ臨時交付金充当事業)

浴場2箇所と機械室の改修工事を行い、誰もが利用できる全世代型のバリアフリー調理室と教室一室（各77㎡）に変わります。機械室は、福祉避難所用倉庫（35㎡）。



● ● ● ● 3月定例会議案一覧及び審議結果「予算」 ● ● ● ●

	議案名等と主な内容	審議結果
町長提出議案	令和3年度神川町一般会計補正予算（第6号） 新型コロナウイルス感染症の影響が継続するなか、工場誘致奨励金や臨時財政調整債の減額など。歳入歳出各2,089万5千円を減額し、補正後総額を歳入歳出各67億5,046万9千円とする。	△
	令和3年度神川町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出各2,282万1千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各15億8,640万4千円とする。	○
	令和3年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出各312万円を減額し、補正後総額を歳入歳出各1億4,129万6千円とする。	○
	令和3年度神川町介護保険特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出各2,612万5千円を減額し、補正後総額を歳入歳出各12億1,952万2千円とする。	○
	令和3年度神川町営バス事業特別会計補正予算（第2号） 補助金等の額の確定に伴い、財源内訳を変更する。	○
	令和3年度神川町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出各250万9千円を減額し、補正後総額を歳入歳出各1億5,554万3千円とする。	○
	令和4年度神川町一般会計予算 肥土地内の町道5180号線の改良工事、消防団車両の更新、新神泉総合支所建設事業など。予算の総額を歳入歳出それぞれ60億4,800万円とする。	△
	令和4年度神川町国民健康保険特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ15億230万8千円とする。	○
	令和4年度神川町後期高齢者医療特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ1億6,836万9千円とする。	○
	令和4年度神川町介護保険特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ11億3,900万3千円とする。	○
	令和4年度神川町営バス事業特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ1,046万4千円とする。	○
	令和4年度神川町観光事業特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ2,990万2千円とする。	○
	令和4年度神川町水道事業会計予算 第3条予算の水道事業収益を3億1,344万4千円、水道事業費用を2億7,946万円と定め、第4条予算の資本的収入を1,780万1千円、資本的支出を1億8,147万5千円とする。	○
	令和4年度神川町下水道事業会計予算 第3条予算の水道事業収益を1億1,808万5千円、事業費用を1億1,474万2千円と定め、第4条予算の資本的収入を8,568万8千円、資本的支出を8,913万1千円とする。	○

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

3月定例会議案一覧及び審議結果「条例・決議等」

	議案名等と主な内容	審議結果
町長提出議案	神川町子育て支援センター条例 子育て支援センターの開所に伴い、条例を制定する。	○
	神川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 国家公務員における非常勤職員の育児休業・介護休暇等の取得要件緩和の措置に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 持ち家に係る住居手当の廃止に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町総合福祉センター条例の一部を改正する条例 厨房及び食堂に関する事業の廃止に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町保育所条例の一部を改正する条例 丹荘保育所の建て替えに伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町都市公園条例の一部を改正する条例 ゆ〜ゆ〜ランドターゲットバードゴルフ場の使用料無料化の改正を行う。	○
	神川町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例 消防団員の処遇の改善を図るため、所要の改正を行う。	○
	神川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線において働く、保育士・幼稚園教諭等の処遇を改善することに伴い、所要の改正を行う。	○
	指定管理者の指定について 神川町営冬桜の宿神泉の管理について、ふぁーむニコ株式会社を指定管理者として指定する。*注1	○
	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について 埼玉県都市競艇組合の名称変更に伴い、埼玉県市町村総合事務組合規約を変更する。	○
専決処分の承認を求めることについて 令和3年度神川町一般会計補正予算（第5号）を承認する。	○	
議員提出議案	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議について ロシアによるウクライナへの侵攻に対し強く抗議する決議を全会一致で可決する。	○

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

*注1：4月11日、ふぁーむニコ株式会社より指定管理者の辞退届があり、冬桜の宿神泉は当面の間、休館しています。

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議

2月24日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を行った。

このことは、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かし、明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて容認することはできない。

今回の軍事侵攻によって、ウクライナが攻撃され、市民の人命が失われるなど、大きな犠牲が生じていると報じられている。

ロシアによるウクライナへの侵攻に対し強く抗議するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、1日も早く平和的に解決することを強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月16日

埼玉県児玉郡神川町議会議員 清水 敏信

3月定例会議案一覧及び審議結果「人事案件等」

選挙管理委員及び選任選挙管理委員補充員の選挙が指名推薦で行われ、満場一致で選任されました。

【選挙管理委員4名】

小川静男氏（関口） 藤田昌男氏（渡瀬） 浅見眞一氏（上阿久原） 内海和雄氏（新里）

【選任選挙管理委員補充員4名】

伊藤勝行氏（四軒在家） 小島健司氏（下阿久原） 櫻澤芳江氏（渡瀬） 秋山英二氏（新宿）

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 四方田勉氏の任期満了（令和4年9月30日）に伴い、町長から再任することについて推薦案が提出され、満場一致で同意。	○
	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 西村享氏の任期満了（令和4年3月17日）に伴い、町長から再任することについて推薦案が提出され、満場一致で同意。	○
	監査委員の選任につき同意を求めることについて 松本公三氏の任期満了（令和4年3月18日）に伴い、町長から飯島正文氏の推薦案が提出され、満場一致で同意。	○
	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて 齋藤里江氏の任期満了（令和4年3月23日）に伴い、町長から再任することについて推薦案が提出され、満場一致で同意。	○
	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて 田村巖氏の任期満了（令和4年3月23日）に伴い、町長から再任することについて推薦案が提出され、満場一致で同意。	○
	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて 設楽一男氏の任期満了（令和4年3月23日）に伴い、町長から再任することについて推薦案が提出され、満場一致で同意。	○
	副町長の選任につき同意を求めることについて 町長から金子亨氏の推薦案が提出され、満場一致で同意。	○

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

各議員の賛否の状況（全員賛成の議案等を除く）

議案名称	議決等の結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		四方田繁男	新井 太一	田中 隆久	川浦 雅子	野口 弘吉	坂本 貴佳	清水 敏信	堀川 光宣	柴崎 愛子	福島 康弘	落合 周一	赤羽奈保子
町長提出議案 令和3年度神川町一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	×	○	○	-	○	○	○	○	○
町長提出議案 令和4年度神川町一般会計予算（9ページ参照）	可決	○	○	○	×	○	○	-	○	○	○	○	○

○ 賛成 × 反対 — 清水敏信議長（議事進行）は採決に加わりません。

議会活動報告



意義ある3日間 新任議員研修開催

2月1日・10日・14日の3日間、町議会議員補欠選挙に当選した2名の議員が新任議員研修に参加しました。

研修では、地方議会の概要をはじめ、各課から令和3年度の主要事業の説明がありました。

また、中央公民館や保健センター、上下水道課などを視察し、施設の現況を確認するとともに、理解を深めました。

総務経済常任委員会協議会を開催

3月8日（火）、全員協議会室で、総務経済常任委員会協議会を開催し、所管事務の協議を行いました。

議員からは、請願・陳情の無い時の委員会の取扱いや、指定管理施設の運営、協定書の内容などの意見があり、委員会としての考えを確認しました。



文教厚生常任委員会協議会を開催

3月9日（水）、教育長及び学務課より、町内小中学校に関わる危険通学路、新型コロナウイルス、オンライン授業への対応につき説明を受け、各学校・児童の安全・安心に関する状況を確認し、より良い教育環境を提供すべく、意見交換を行いました。

また、防災環境課からは、消防水利設備の説明を受け、火災から住民を守るため、環境整備状況を確認し、今後の水利整備の計画も確認しました。

理解を深める新規事業研修会

3月10日（木）議場で、令和4年度新規事業研修会を開催し、各課の担当者から、200万円以上の新規事業を中心に、事業内容の説明を受けました。

議員からは、事業の目的や疑問などに対して質問があり、今後のまちづくりを検討していく上で、大変有意義な研修となりました。



議 会 日 誌

*本誌は、主に議長出席の行事を掲載しています

3月		2月		1月	
4日	第1回定例会②(条例・補正)	24日	議会だより編集部会	4日	全員協議会
3日	第1回定例会①(一般質問等)	21日	臨時議会運営委員会	7日	児玉広域圏組合仕事始め式
		18日	市町村トップセミナー	7日	県と町村議会議長会新年懇談会
		17日	総合計画審議会	9日	成人式典
		12日	こだま青年会議所組織披露宴	10日	イルミネーション撤去作業
		11日	国道254・462号県要望	10日	新規事業研修(*写真①)
		10日	新任議員研修会②	14日	臨時全員協議会
		10日	新任議員研修会③	16日	社会福祉協議会理事会
		16日	議会だより編集部会	18日	第1回定例会④(条例・補正 ・当初予算、採決等)
		18日	議会運営委員会	26日	全日本ろうあ連盟記念上映会
		21日	社会福祉協議会理事会	30日	児玉郡市広域市町村圏組合議 会定例会
		22日	県町村議会議長会定期総会		
		28日	全員協議会		
				8日	総務経済常任委員会協議会
				9日	文教厚生常任委員会協議会
				9日	議会運営委員会
				7日	第1回定例会③(一般会計当 初予算説明)



*写真① 議場で開催 令和4年度新規事業研修会

写真タイトル: チューリップ

撮影 フォーカス友の会 山口光江さん

チューリップは、ユリ科の多年草。小アジア原産(アジアの西端、トルコの一部)

撮影場所: 大字渡瀬地内

撮影日: 令和4年3月24日

花の見頃: チューリップは、3月~5月にかけて可愛い花を咲かせます。地域の気候などによって開花期間は異なります。

花言葉: 『名声』『思いやり』『愛の告白』チューリップの花言葉の由来には、諸説あります。

撮影者: 渡瀬地区の山間に、チューリップ畑があります。夏は、ひまわり畑になります。毎日の散歩が楽しみです。



スマホで議会!

スマホでQRコードを読み込むと「町HPから神川町議会のページ」が閲覧できます。



【9月定例会は、9月6日(火) 午前9時から開催予定です。】

